

PCカード規格準拠

PC98-NXシリーズ・DOS/Vマシン・PC-9821シリーズ用

Fast Ethernet LANアダプタ PCカード

PCET/TX

取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

13386-02

【ご注意】

1)本製品及び本書は株式会社アイ･オー･データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2)本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

3)本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ･オー･データ機器PLANTコールセンターまでご連絡ください。

4)本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。
したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。

5)本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。

6)本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。

7)本サポートソフトウェアは、取扱説明者または仕様書において互換性があると記載されたサードパーティの製品に関し、互換性を保つために努力しますが、サードパーティの製品に問題または欠陥があるために互換性がない場合は例外とします。

8)本サポートソフトウェアの媒体につき、材料または仕上がりの点で物理的欠陥がないこと･取扱説明書どおり機能することをお買い上げの日より90日間保証致します。媒体に欠陥があった場合、欠陥媒体と引き換えに新しい媒体を提供致します。

9)書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。

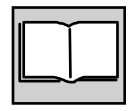
10)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

11)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan.　We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries.　We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)

12)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

- I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ･オー･データ機器の登録商標です。
- ArtisoftとLANtasticは、米国 Artisoft,Inc.の登録商標です。
- Ethernetは、米国 Xerox Corporationの登録商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- NetWareは、米国 Novell,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

このたびは、PCカード規格準拠Fast Ethernet LANアダプタPCカード『PCET/TX』をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。



本書の表記方法

・ 本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。

【第１章】を読み、ユーザー登録を行います。

↓

【第２章】を読み、本製品を正しく取り付け、動作確認を行います。

↓

使用OSは？

- Windows98/95 → 【第３章】を参照して、セットアップを行います。
- Windows3.1 (MS-DOS) WindowsNT4.0 WindowsNT3.51 → 【第４章】を参照して、セットアップを行います。

↓

終　了

・ 呼び方

呼び方	意　味
「ネットワークOS」または「NOS」	Network Operating System
Windows98	Microsoft® Windows®98 Operating System
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
Windows98/95	Windows98,Windows95の総称
Windows3.1	Microsoft® Windows® Operating System Version3.1
WindowsNT4.0	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0
WindowsNT3.51	Microsoft® WindowsNT® Operating System Version3.51
WindowsNT	WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称
Windows	Windows98/95,Windows3.1,WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称

・ ハードウェア構成

本書では以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

《ドライブ構成》

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合

A：フロッピーディスクドライブ3.5インチ(1.44MB/720KB)
C：ハードディスクドライブ
　　ご使用になるOSがインストール済みで起動可能
D：CD-ROMドライブ

PC-9821シリーズの場合

A：ハードディスクドライブ
　　ご使用になるOSがインストール済みで起動可能
B：ハードディスクドライブ
C：フロッピーディスクドライブ3.5インチ(1.44MB/1.25MB/720KB)
D：CD-ROMドライブ

第1章 ご使用になる前に

この章では、PCET/TXをご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

1.1 特徴

■簡単セットアップ

- 日本語LANアダプタ診断プログラムなど、わかりやすく操作をガイド
- プラグ＆プレイ対応の簡単インストール
- ネットワーク状態監視用のLEDインジケータを装備しているので、ネットワークトラブルの切り分けができます。

■高速！Full-duplex対応

●スイッチングハブを併用することで理論値2倍の高速通信が可能(全二重対応)
※10BASE-T使用時のみ

■移行もスムーズ

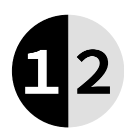
10/100Mbpsを自動的に検知して切り替えるため、既存の10BASEネットワークに簡単に設置でき移行もスムーズ。

■安心！トータルサポート

●ネットワーク製品専用サポートダイヤルを設置
●各種ネットワークOS用ドライバソフト添付

■標準添付ソフトウェア

●ODI4.0,NDIS2.x/3.x/4.x
●自己診断プログラム(MS-DOS用)



箱を開けたら

・ 内容のご確認

・スタンダードセット

No.	内容物	個数	備考
1	LANアダプタPCカード	1枚	PCET/TX
2	メディアカプラ	1個	RJ-45用
3	フェライトビーズ	1個	ノイズ低減用
4	サポートソフトウェアディスク 3.5インチ2HD (1.44MB)	2枚	PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用‥1枚 PC-9821ｼﾘｰｽﾞ用･･････････････1枚
5	取扱説明書	1冊	PCET/TX取扱説明書 (本書)
6	Verシール	1枚	
7	ハードウェア保証書	1枚	
8	ハードウェアシリアルNo.シール	1枚	
9	ユーザー登録カード	1枚	
10	安全で快適にお使いいただくために	1冊	

・5カードセット

No.	内容物	個数	備考
1	LANアダプタカード	5枚	PCET/TX
2	メディアカプラ	5個	RJ-45用
3	フェライトビーズ	5個	ノイズ低減用
4	サポートソフトウェアディスク 3.5インチ2HD (1.44MB)	2枚	(PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用‥1枚 PC-9821ｼﾘｰｽﾞ用･･････････････1枚) 本サポートソフトウェアは、1ｾｯﾄ分で5ユーザまで使用可能です。
5	取扱説明書	1冊	PCET/TX取扱説明書 (本書)
6	Verシール	1枚	
7	ハードウェア保証書	5枚	
8	ハードウェアシリアルNo.シール	5枚	
9	ユーザー登録カード	1枚	
10	安全で快適にお使いいただくために	1冊	

万が一、不足品がございましたら、弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。

お願い：箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

・ ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

I-O DATA ホームページに「オンライン･ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン･ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン･ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1)添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。
2)ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。


注 意

1)弊社では、PLANTコールセンターでソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ(ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど)があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

13 動作環境

ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

・ 対応機種

・ PCカードTYPE II スロットを搭載または装備した以下の機種
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン※
PC-9821シリーズ（Neを除く）

・ 弊社製CardDock2-EX/DV,CardDock/DVが動作可能なDOS/Vマシン
・ 弊社製CardDock2-EX/98,CardDock/98,CardDock/98-EXが動作可能なPC-9800シリーズ

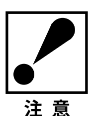
※ 弊社ではOADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っています。

・ 対応ＯＳ

・PC98-NXシリーズ
日本語Windows98
日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0

・DOS/Vマシン
日本語Windows98
日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0/3.51
日本語Windows3.1（MS-DOS Ver.5.0以降）
MS-DOS Ver.5.0以降

・PC-9821シリーズ（Neを除く）
日本語Windows98
日本語Windows95
日本語WindowsNT4.0/3.51
日本語Windows3.1（MS-DOS Ver.3.30C以降）
MS-DOS Ver.3.30C以降


注 意

[Windows3.1,MS-DOS上で使用する場合]
DOS/Vマシンをお使いの場合、標準でPCカードドライバが添付されていない場合がありますのでご確認ください。PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。

・ 対応ＮＯＳ環境

クライアント･サーバ

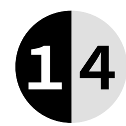
日本語Windows98/95
日本語WindowsNT4.0/3.51
NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J
Microsoft LAN Manager V2.1xJ

ピア･ツー･ピア

日本語Windows98/95
日本語WindowsNT4.0/3.51
Personal NetWare J1.0
LANtastic 6.0
LANtastic for Windows95

ネットワークプロトコル

ODI4.0/NDIS2.x,3.x,4.x



取り扱い及び使用上の注意

・ 本製品の取り付けや取り外しは、必ずパソコン本体及び周辺機器の電源を切り、コンセントを外してから行ってください。故障の原因になることがあります。

・ 本製品は精密機器です。落としたり衝撃を加えないよう、丁寧に取り扱ってください。

・ 本製品に対し、以下のことを行わないでください。火災・感電・動作不良の原因になります。

・分解や改造などをしないでください。

・濡れた手などで本製品を取り扱わないでください。

・ 保証について

◎ 保証期間

・保証期間は、製造日より3年間です。保証期間を過ぎたものは有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

・弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

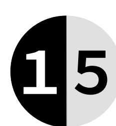
◎ 保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

・本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

・本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。



15 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、実行用ディスクの作り方を説明します。（以下は、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

1 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。

2 サポートディスクを書き込み禁止にします。

3 Windows98/95,WindowsNT4.0の場合は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし「ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ」を選択します。

Windows95の例)



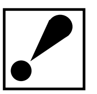
MS-DOS（Windows3.1）,WindowsNT3.51の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態でDISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

```
C:\>diskcopy A: A: ・
```

（下線部入力）

4 サポートディスクと空きフロッピーディスクをメッセージに従って入れ替えながら、バックアップを取ります。

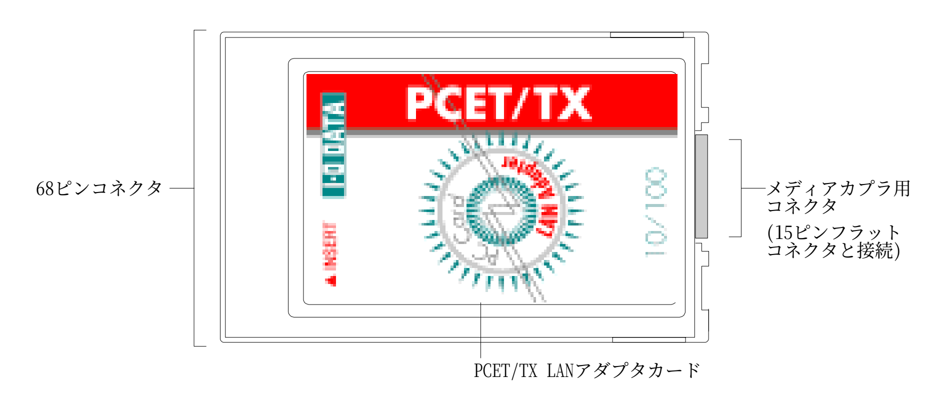

注 意

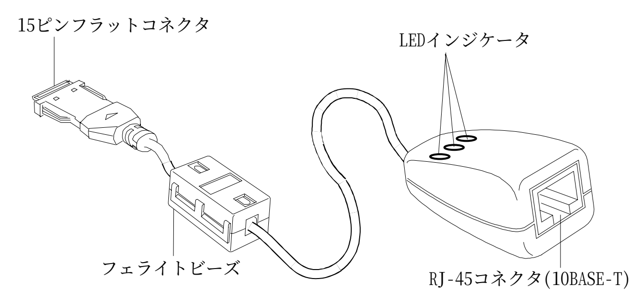
サポートディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートディスクは大切に保管してください。

第2章 取り付け方法

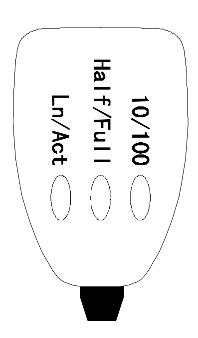
この章では、パソコンにPCET/TXをセットアップし、ハードウェアが正しく動作することの確認方法を説明します。

2-1 各部の名称





2-2 LEDインジケータ



・10/100 ステータス LEDインジケータ

100BASEの時、常に点灯しています（緑色）。

10BASEの時、消灯しています。

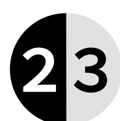
・Half/Full ステータス LEDインジケータ

Full Duplexの時、常に点灯しています（緑色）。

・Ln/Act ステータス LEDインジケータ

このLEDインジケータは、ネットワークリンクステータスインジケータとして機能します。PCET/TXがパソコンから電力の供給を受け、ハードウェアとソフトウェアが適切にセットアップされている時、常に点灯しています（緑色）。点灯しない場合はネットワーク回線接続をチェックしてください。

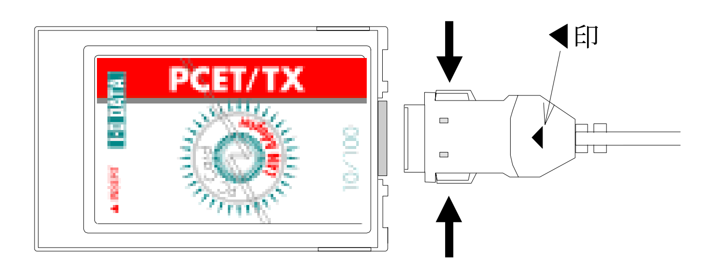
またこのLEDインジケータは、送受信用データを示します。緑色の点滅状態は、ネットワークの利用状況を示しています。



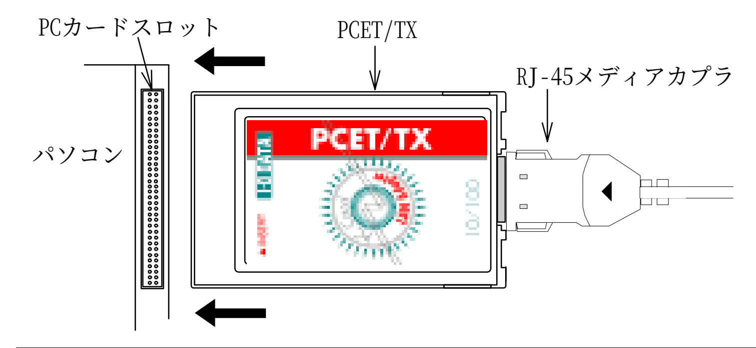
2-3 取り付け

1 パソコンの電源スイッチを切ります。

2 RJ-45メディアカプラをPCET/TXのメディアカプラ用コネクタに接続します。
（PCET/TXの表側と15ピンフラットコネクタの◀印の面を合わせて接続します。）



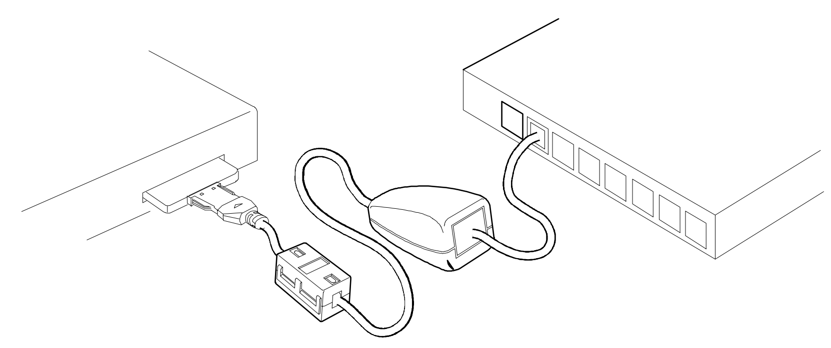
3 PCカードスロットに、RJ-45メディアカプラを接続したPCET/TXを取り付けます。
PCET/TXがPCカードスロットに適切に装着されることを確認しながら押し込みます。



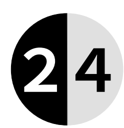

注 意

コネクタ部は壊れやすいため、接続する際には向きを確認しながらゆっくりと差し込んでください。無理な力は加えないでください。

4 **PCET/TXをネットワークに接続します。(メディアカプラとハブのRJ-45コネクタを10BASE-T用非シールドツイストペアケーブルで接続してください。)**



ハードウェアの接続は以上です。コンピュータの電源を入れ、パソコンの環境に合わせた設定(【付2.1　パソコン環境】(P53)参照)を行い、PCET/TXの動作確認(次ページの【2.4　動作確認】参照)を行ってください。



2.4 動作確認

PCET/TXの動作確認を行います。


注意

PC98-NXシリーズをお使いの場合やMS-DOS(Windows3.1)用のPCカードドライバ（ソケットサービス/カードサービス）がパソコンに組み込まれていない場合では、次ページ以降の診断プログラムは動作いたしません。PCカードドライバの組み込みを行ってください。PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。
PCカードドライバをお持ちでない場合は、この項を読み飛ばしてください。
（PCカードドライバについてお分かりにならない場合は【4.1 ● ソケットサービス／カードサービスの例】(P35)を参照してください。）

動作確認は、MS-DOS上で動作するetsetup.exeで行います。etsetup.exeはLANアダプタカードの自己診断による動作確認を行います。


特に注意

1)Windows上のDOSプロンプトでは実行しないでください。
2)動作確認を行う場合は、config.sysやautoexec.batに各種ネットワークドライバ（NetWare,MS LAN Manager,LANtastic等）を組み込まない状態でテストを行ってください。
組み込まれたまま動作確認を行うと、パソコンがハングアップしたりして正常に動作しなくなる場合があります。

1 周辺機器の電源を入れてからパソコン本体の電源を入れ、ハードディスクからMS-DOSを起動します。

2 サポートソフトのセットアップアッププログラム(etsetup.exe)を起動します。

DOS/Vマシンの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、etsetup.exeを起動します。

C:\>a:\etsetup・

（下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブの場合）

PC-9821シリーズの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC-9821ｼﾘｰｽﾞ用　PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、etsetup.exeを起動します。

A:\>c:\etsetup・

（下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがCドライブの場合）

3 セットアップ画面が表示されたら「LANアダプタの自己診断」を選択してください。



4 以下の項目について、PCET/TXのチェックが行われます。

ｶﾚﾝﾄI/Oﾍﾞｰｽｱﾄﾞﾚｽﾃｽﾄ	PCET/TXが使用する割り込み,I/Oポートにコンフリクト(競合)がないかのチェック
DC-DC変換,発振器,水晶ﾃｽﾄ	PCET/TX内の発振器のチェック
EEPROMﾃｽﾄ	PCET/TX内のEEPROMのチェック
LANｾｯﾄｱｯﾌﾟﾚｼﾞｽﾀﾃｽﾄ	PCET/TX内のｾｯﾄｱｯﾌﾟﾚｼﾞｽﾀのﾘｰﾄﾞ/ﾗｲﾄﾁｪｯｸ
ﾒﾓﾘﾃｽﾄ	PCET/TX内のSRAMのﾘｰﾄﾞ/ﾗｲﾄチェック
LANｺﾝﾄﾛｰﾗﾌｧﾝｸｼｮﾝﾃｽﾄ	ﾘﾓｰﾄDMAのﾘｰﾄﾞ,ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾄﾞﾚｽﾚｼﾞｽﾀのﾘｰﾄﾞ/ﾗｲﾄのチェック
内部ﾙｰﾌﾟﾊﾞｯｸﾃｽﾄ	割り込みｽﾃｰﾀｽ,送信ｽﾃｰﾀｽ,ﾃﾞｰﾀ不一致,割り込みｽﾃｰﾀｽ解放,受信ｺﾝﾌｨｷﾞｭﾚｰｼｮﾝの検出

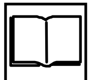
上記テストで異常が無いことを確認してください。



1) トラブルが発生した場合、LAN間接続（ケーブル,ハブなど）が確実に接続されていることを確認し、トラブルを確定するためにパソコンを再起動して再び「LANアダプタの自己診断」を動かしてください。

2) すでに存在しているネットワーク環境に接続してテストを行う場合は、事前にネットワークシステム管理者にご相談ください。

この後、次章以降を参照して各OS及びNOSへのドライバの設定を行ってください。ただし、PCET/TXをWindows98/95で使用する場合は、一旦PCET/TXをPCカードスロットから取り外し、ドライバをインストールする前の確認（「3.1 インストールの前に」(P16)参照）を行ってください。Windows98/95では、Windows98/95起動後にPCET/TXをPCカードスロットに挿入します。



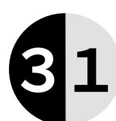
PCET/TX（PCカード）の取り外しは、通常PCカードスロットの横のイジェクトボタンで取り外します。
取り外しに関する詳細は、パソコンのマニュアルを参照してください。

第3章 日本語Windows98/95で使用するには

この章では、【第2章】で取り付けたPCET/TXをWindows98/95で使用する場合について説明します。
PCET/TXをWindows98/95で使用するには、PCET/TXのWindows98/95用のドライバのインストール及びネットワークの設定が必要です。この章では、Windows98/95へのドライバのインストール方法について説明します。


注 意

Windows98/95起動前にPCET/TXを一旦取り外してください。起動後まず次ページの【3.1 インストールの前に】を確認してください。その後、RJ-45メディアカプラを接続したPCET/TXをPCカードスロットに挿入します。



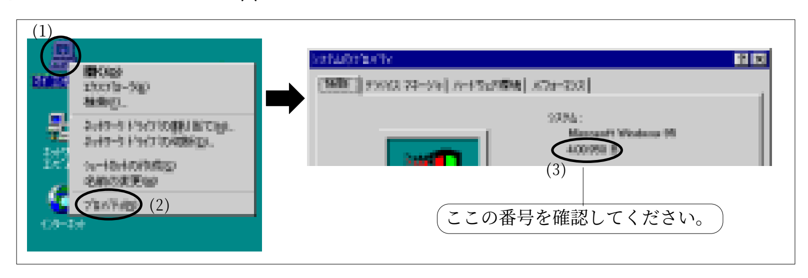
インストールの前に

インストールの前に以下の内容をご確認ください。

・ Windows95を使用している場合はバージョン番号を確認する。

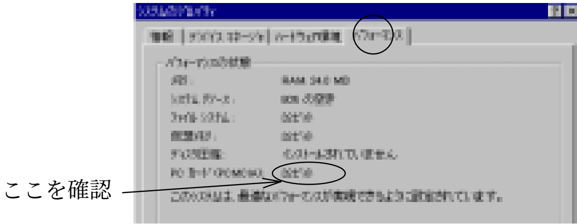
Windows95をご使用の方はバージョンによりインストール手順の一部が異なります。
まず以下の方法でWindows95のバージョンを確認してください。
バージョンには「4.00.950、4.00.950a、4.00.950 B、4.00.950 C」があります。

＜確認方法＞
デスクトップ上の「ﾏｲｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンにマウスカーソルを合わせてマウスの右ボタンを押し(1)、現れたメニューから「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を選択します(2)。「ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」に表示される番号を確認してください(3)。



・ PCカードのドライバの確認をする。

上記画面の「ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ」タブをクリックします。
「PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)」のドライバが32ビットであることを確認してください。

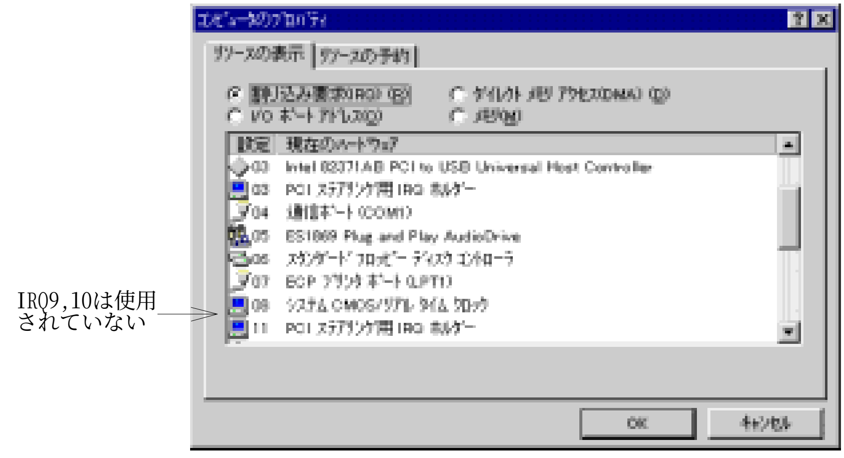


32ビットになっていない場合は、『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の[PCｶｰﾄﾞ]アイコンをダブルクリックしてください。PCカードウィザードが起動されますので、画面の指示に従って実行していただくと32ビットに変わります。

・ 割り込み(IRQ)の空きの確認をする。

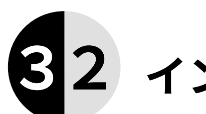
PCET/TXは割り込み(IRQ)を1つ使用します。割り込みの空きがないとPCET/TXは使用できません。割り込みの空き状態は、『ｺﾝﾋﾟｭｰﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』で確認できます。
(『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』を順にクリックし、『ｼｽﾃﾑ』アイコンをダブルクリックし、[ﾃﾞﾊﾞｲｽﾏﾈｰｼﾞｬ]タブで[ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]が選択された状態で[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックすれば、[ｺﾝﾋﾟｭｰﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]画面が表示されます。
[ﾘｿｰｽの表示]タブでの「割り込み要求(IRQ)」で「0」～「15」のIRQのうち、使用されていない(空いている)割り込みがあることを確認しておいてください。)

(以下の画面では、IRQ9とIRQ10が使用されていない(空いている)ことが分かります。)




注 意

「0」～「15」のIRQが全て何らかのデバイスによって使用されている場合、割り込みの空きがない状態です。
割り込みの空きがないと本製品は使用できません。使用していない機器等があれば取り外したり無効にして、割り込みの空きを作ってください。



3.2 インストール

Windows98をお使いの場合

【● Windows98へのインストール】(本ページ以降)でインストール後、
【●インストール終了後の確認】(P25)でインストールが正常に行われた事の確認を行ってください。

Windows95をお使いの場合

【● Windows95へのインストール】(P22)でインストール後、
【●インストール終了後の確認】(P25)でインストールが正常に行われた事の確認を行ってください。

● Windows98へのインストール


注 意

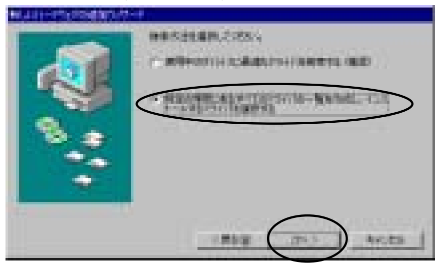
1)パソコンへWindows98をインストールする際は、LANアダプタ(本製品を含む)を取り付けない状態で、行ってください。
2)Windows98の新機能には対応していない場合があります。

1 製品をパソコン本体に取り付け、Windows98を起動します。

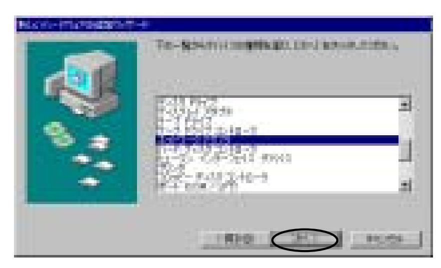
2 以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。



3 「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



4 「ネットワーク　アダプタ」を選択し［次へ］ボタンをクリックします。



5 ［ディスク使用］ボタンをクリックします。



6 **フロッピーディスクドライブにサポートディスクを挿入します。**
“配布ファイルのコピー元”に
A:\WIN98（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAの場合）
と打ち込み、［OK］ボタンをクリックしてください。

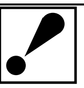


7 **［OK］ボタンをクリックしてください。**



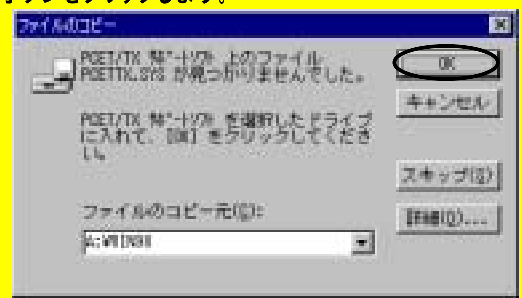
8 **以下の画面が表示されますので、［次へ］ボタンをクリックします。**
→ファイルコピーを開始します。





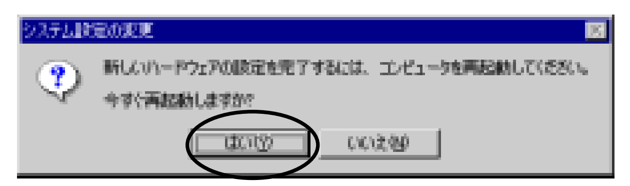
注 意

ファイルコピーの途中でWindows98のCD-ROMを要求された場合、CD-ROMドライブにWindows98 CD-ROMを入れて、画面の指示に従ってください。
また、上記のCD-ROM等からのファイルコピーの途中で
「...のファイルxxxxxx.xxxが見つかりませんでした。」
と表示された場合は、“ファイルのコピー元”に
A:\WIN98（ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAの場合）
を入力して[OK]ボタンをクリックします。



9 「新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱﾃﾞﾊﾞｲｽに必要なｿﾌﾄｳｪｱがｲﾝｽﾄｰﾙされました。」
と表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

10 サポートディスクを抜き、[はい]ボタンをクリックして、再起動します。



再起動後、正しくインストールできたかどうか確認してください。
【● インストール終了後の確認】(P25)参照。
正しくインストールできていれば本製品が使用できます。

● Windows95へのインストール

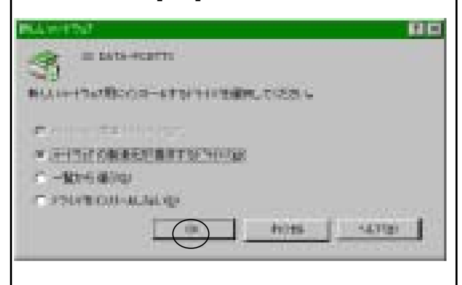
Windows95のバージョンが4.00.950または4.00.950aの場合
以下の「Windows95 4.00.950/4.00.950a」の欄をお読みください。
Windows95のバージョンが4.00.950 Bまたは4.00.950 Cの場合
以下の「Windows95 4.00.950 B/4.00.950 C」の欄をお読みください。

Windows95 4.00.950/4.00.950a	Windows95 4.00.950 B/4.00.950 C

1 Windows95起動後、ネットワーク接続したPCET/TXをPCカードスロットに挿入します。(詳細は［2.3 取り付け］(P10)を参照してください。)

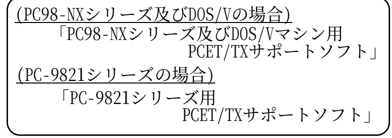
Windows95 4.00.950/4.00.950a

2 PCET/TXが新しいハードウェアとして認識され、『新しいﾊｰﾄﾞｳｪｱ』画面が表示されます。
「ﾊｰﾄﾞｳｪｱの製造元が提供するﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



Windows95 4.00.950 B/4.00.950 C

2 PCET/TXが新しいハードウェアとして認識され、下記の画面が表示されます。
サポートソフトディスクを挿入し、[次へ]ボタンをクリックします。


(PC98-NXシリーズ及びDOS/Vの場合)
「PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン用
PCET/TXサポートソフト」
(PC-9821シリーズの場合)
「PC-9821シリーズ用
PCET/TXサポートソフト」




注 意

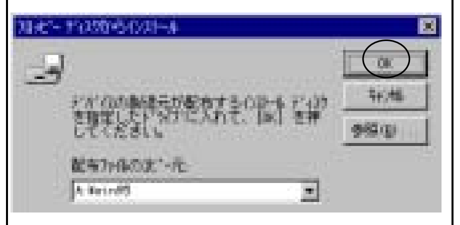
インストールが正しく終了した場合、次回からこの画面は表示されません。もし、インストールを行っていないのに、PCET/TXをPCカードスロットに挿入してもこの画面がでない場合は、以下の原因が考えられます。
①PCET/TXをPCカードスロットに正しく挿入していない。
(PCET/TXの向きが違う、PCカードスロットに奥まで挿入していない)
②PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)のドライバが32ビットになっていない
(［・ PCカードのドライバの確認をする］(P16)を参照し、確認してください。)

Windows95 4.00.950/4.00.950a

3 以下の画面が表示されたら、サポートソフトディスクを挿入します。

(PC98-NXシリーズ及びDOS/Vの場合)
「PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン用
PCET/TXサポートソフト」
(PC-9821シリーズの場合)
「PC-9821シリーズ用
PCET/TXサポートソフト」

フロッピーディスクドライブのwin95のパス指定を行い、[OK]ボタンをクリックします。
ファイルコピーを開始します。



例）A:\win95（下線部入力:フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

Windows95 4.00.950 B/4.00.950 C

3 以下の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。
ファイルコピーを開始します。



サポートソフトディスクを挿入していなかった場合は、上記の画面は表示されず、以下の「このﾃﾞﾊﾞｲｽ用のﾄﾞﾗｲﾊﾞが見つかりませんでした。」と表示されます。
[戻る]ボタンをクリックし、ディスクを挿入して再度手順**2**から行ってください。





注 意

途中でWindows95のCD-ROMを要求された場合、CD-ROMを準備して

d:\win95　（CD-ROMドライブがDドライブの場合）

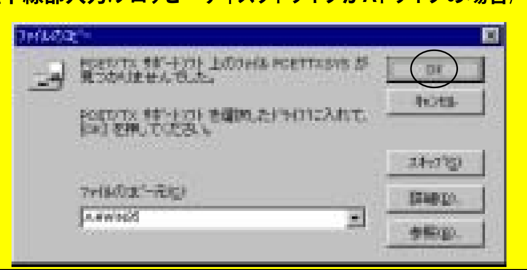
と入力し、画面の指示に従ってください。

上記のCD-ROM等からのファイルコピーの途中で

「....のﾌｧｲﾙ　PCETTX.SYS　のﾌｧｲﾙが見つかりませんでした。」

とエラー表示された場合は、以下の例のフロッピーディスクドライブのwin95のパス指定を行い、[OK]ボタンを押してください。

例）A:\win95（下線部入力:フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

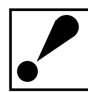




必要なファイルがコピーされると、インストールが終了します。
PCET/TXは挿入したまま、一旦Windows95を再起動してください。

以上でインストールは終了です。

次に、正常にインストールされたかの確認を行ってください。(【● インストール終了後の確認】次ページ参照)



注 意

Windows98/95使用中にPCカードの動作を終了しないで、PCET/TXをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

PCET/TXをPCカードスロットから取り外す際には、

【3.3 Windows98/95を使用中に取り外す場合の注意事項】(P28)を参照してください。

● インストール終了後の確認

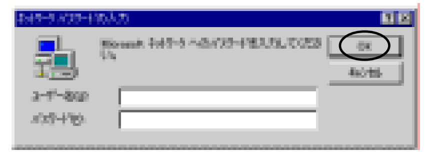
ここではPCET/TXがWindows98/95で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。インストール終了（再起動）後、必ず以下の事を確認してください。

1 「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンを確認する。

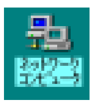
パソコンを再起動すると起動途中で以下のA画面が表示されますので、ユーザー名とパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。

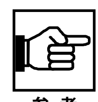
起動後、デスクトップ上に、「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコンが追加されたことを確認してください。（以下のB画面）

A　「ﾈｯﾄﾜｰｸﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの入力」画面



B「ﾃﾞｽｸﾄｯﾌﾟ」上の「ﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾋﾟｭｰﾀ」アイコン





参 考

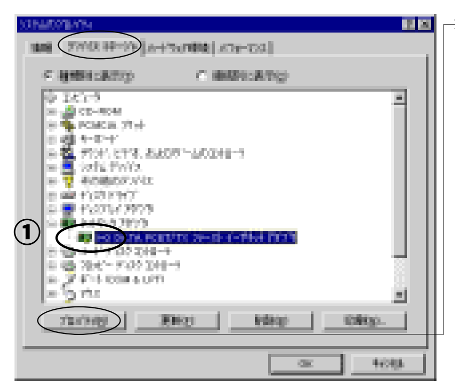
Windows98/95では、パスワード管理も一元化されています。ユーザーID、パスワードを利用するネットワークで同一にしておくと、1つのネットワークにログインすれば、他のネットワークにユーザIDとパスワードの入力なしでログインできます。

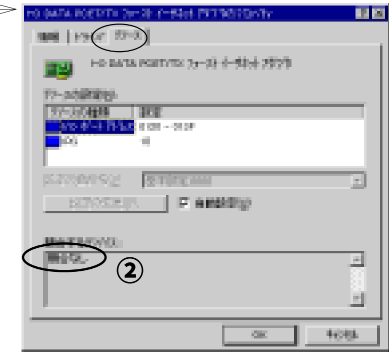
2 ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」でエラーがでていないこと確認する。

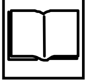
『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックします。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブで「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックします。

① 「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の「I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に、！マークが付いていないことを確認します。

② 「I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を選択後、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、『I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、競合するデバイスがないことを確認します。





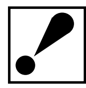


参 照

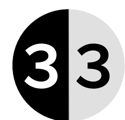
！マークがついていたり、デバイスが競合していた場合は、【付録1】の【●Windows98/95上でのトラブル】(P51)を参照してください。

● ネットワークシステムへの設定について

インストール終了後の確認がすべて正常ならば、Windows98/95でPCET/TXが使用できます。この後、Windows98/95同士のピア･ツー･ピア接続や各種ネットワークシステム(NetWare,WindowsNT,LANtastic for Windows95)のクライアントとして使用する場合は、必要な設定を行ってください。



各ネットワークOSでネットワークの設定を行う際、「NetworkAddress」の項目は、通常設定しないでください。ご使用になる場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。



Windows98/95を使用中に取り外す場合の注意事項

Windows98/95を使用中でもPCET/TXを取り外すことができます。

ただし、PCカードの動作を終了せずにPCET/TXをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

PCET/TXをPCカードスロットから取り外す際には、次ページの「・ PCET/TXの取り外し方法－その1」または「・ PCET/TXの取り外し方法－その2」(P30)の手順に従って行ってください。

またPCET/TXを取り外す場合は、PCET/TXを使用しているLANのネットワークを使用していない(他のネットワークにアクセスしていない、及び他のネットワークからアクセスされていない)事を確認してから取り外してください。

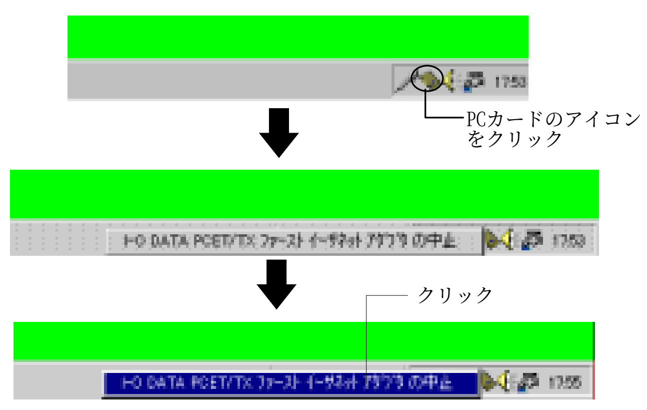
「・ PCET/TXの取り外し方法－その２」を参照



「・ PCET/TXの取り外し方法－その１」を参照

・ PCET/TXの取り外し方法ーその1

1 タスクバーのPCカードのアイコンをクリックし、「I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀの中止」を選択後、クリックします。



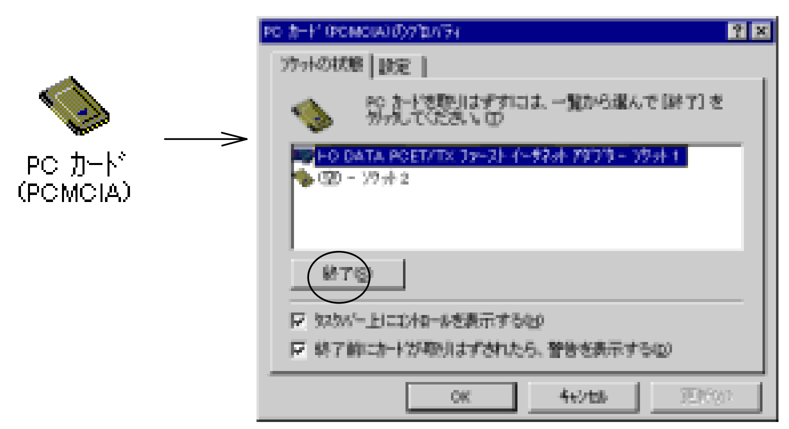
2 次の画面が表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。



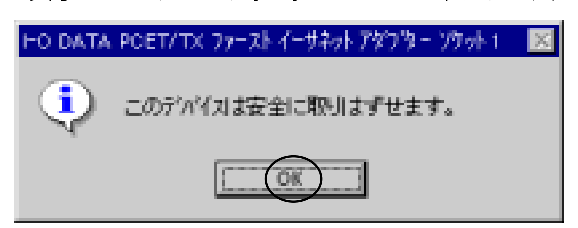
3 PCET/TXをPCカードスロットから取り外します。
再度PCET/TXを使用する場合は、PCカードスロットに挿入すれば使用できます。

・ PCET/TXの取り外し方法ーその2

1 『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の[PCｶｰﾄﾞ(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックし、以下の画面が表示されたら取り外すPCET/TXを選択して、[終了]ボタンをクリックします。



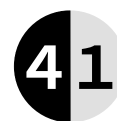
2 以下の画面が表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。



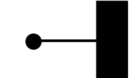
3 PCET/TXをPCカードスロットから取り外してください。
再度PCET/TXを使用する場合は、PCカードスロットに挿入すれば使用できます。

第4章 他のOSで使用するには

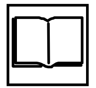
この章では、【第2章】で取り付けたPCET/TXをMS-DOS,Windows3.1,WindowsNTでの各種NOS環境で使用する場合の設定について説明します。



日本語Windows3.1及びMS-DOSで使用するには



PCET/TXをWindows3.1及びMS-DOSで使用したり動作確認を行うには、PCカードドライバ（ソケットサービス/カードサービス）がパソコンにインストールされていることが必要です。まずPCカードドライバがインストールされている事を確認してください。インストールされていない場合は、パソコン本体付属またはパソコンメーカーでの別売のPCカードドライバのインストールを行ってください。
PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。


参照

PCカードドライバがお分かりにならない場合は、【4.1 ● ソケットサービス／カードサービスの例】(P35)を参照し、そちらに記載してあるソケットサービス/カードサービスのドライバがCONFIG.SYSにあるかどうかを確認してください。

● NetWare 3.12J/3.2J/4.1J/4.11J DOSクライアントのセットアップ


参考

サーバへの接続にはネットワークシステム管理者が決めた仕様に伴い、NET.CFGの変更が必要になる場合があります。詳細はネットワークシステム管理者にご相談ください。

《設定手順》

1 NetWareのclientディレクトリのinstall.batを起動します。
あとは画面の指示に従ってインストールを進めてください。

2 「ﾈｯﾄﾜｰｸﾎﾞｰﾄﾞのﾄﾞﾗｲﾊﾞを選択してください」の項目で・キーを押します。

3 「ﾈｯﾄﾜｰｸﾎﾞｰﾄﾞ」一覧の一番下の「他のﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を選択し、・キーを押します。

4 『ﾄﾞﾗｲﾊﾞﾃﾞｨｽｸの挿入』で「PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」（PC-9821シリーズの場合は「PC-9821ｼﾘｰｽﾞ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」）ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「A:\NETWARE\DOSODI」（フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）と入力して・キーを押します。

5 「I-O DATA PCET/TX Fast Ethernet Adapter」と表示されている事を確認して・キーを押します。

6 [F10]キーを押し、インストールを続けてください。

● Microsoft LAN Manager V2.1xへのセットアップ

LAN Managerのsetup.exeを起動してください。

「表示/変更」－「ﾈｯﾄﾜｰｸﾄﾞﾗｲﾊﾞの登録」－「新規設定」－「その他のﾄﾞﾗｲﾊﾞ」を順に選択してください。

```
ドライバまたはプロトコルファイルのコピー
  指定されたドライブにネットワークドライバディスクを
  挿入してください.
  または新規のパス名を指定してください：
  [A:............................]
  その後で＜了解＞を選択してください.
＜了解＞　＜ドライバのインポート取消＞　　＜ヘルプ＞
```

「ドライバまたはプロトコルファイルのコピー」画面が表示されます。
「PCET/TXサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、挿入した<u>ドライブ名のみ</u>を入力し、＜了解＞を選択してください。

DOS/Vマシンの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、以下のように入力します。

<u>A:・</u>　　（下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブの場合）

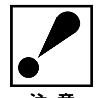
PC-9821シリーズの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC-9821ｼﾘｰｽﾞ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、以下のように入力します。

<u>C:・</u>　　（下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがCドライブの場合）

次に「I-O DATA PCET/TX Fast Ehernet Adapter」が表示されている事を確認してください。

「ネットワークプロトコル」で任意のプロトコルを選択して「ネットワークドライバ設定」で「了解」－「保存」でインストールは終了です。


注 意

1) DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。
2) CD-ROMドライブを使用している場合は、autoexec.batの「@REM ======= LANMAN 2.1・・・・・・・・・・・・」で囲まれた領域を「mscdex.exe」の登録箇所より先に移動してください。

● Personal NetWare J1.0へのセットアップ

install.exeでインストールする際に、「1次ﾈｯﾄﾜｰｸｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｶｰﾄﾞ」ー「OEM製NetWareｲﾝﾀｰﾌｪｰｽの設定」を選択後、「PCET/TXサポートソフト」ディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

DOS/Vマシンの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、以下のように入力します。

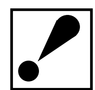
A:\netware\dosodi・　(下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)

PC-9821シリーズの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC-9821ｼﾘｰｽﾞ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、以下のように入力します。

C:\netware\dosodi・　(下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがCﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。
詳細はPersonal NetWare J1.0の取扱説明書を参照してください。


注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

● LANtastic 6.0へのセットアップ

LANtastic 6.0のinstall.exeでインストールする際に「追加機能の選択」ー「インストール処理の継続」選択後、「NDISサポート　ネットワークアダプタ」を選択し、サポートソフトディスクを入れたドライブとディレクトリを指定します。

DOS/Vマシンの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC98-NXｼﾘｰｽﾞ及びDOS/Vﾏｼﾝ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、以下のように入力します。

A:\lantast・　(下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)

PC-9821シリーズの場合

フロッピーディスクドライブに添付の「PC-9821ｼﾘｰｽﾞ用PCET/TXｻﾎﾟｰﾄｿﾌﾄ」ディスクをセットし、以下のように入力します。

C:\lantast・　(下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがCﾄﾞﾗｲﾌﾞの場合)

後は画面の指示に従ってインストールを継続してください。インストール後、PROTOCL.INIを編集して、割り込み,I/Oポートを設定してください。
詳細はLANtastic 6.0の取扱説明書を参照してください。


注 意

DOS/Vマシンのマルチコンフィグ機能には対応していません。

● ソケットサービス/カードサービスの例

PCET/TXが動作するためには、まずPCカードを利用するためのPCカードドライバ(ソケットサービス/カードサービス)がCONFIG.SYSに組み込まれている必要があります。組み込まれていない場合、パソコン本体付属のPCカードドライバの組み込みを行ってください。

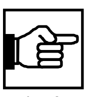
■DOS/Vマシン

●Phoenix社の場合(EPSON Direct NT-500等)

```
DEVICE=C:\DOS\HIMEM.SYS                                       (メモリマネージャ)
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE  X=C800-C8FF , X=C900-CFFF*
                         (弊社 VMM386.EXE の場合
                          C:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=C8-CF  *)
DEVICE=C:\PCM3\CNFIGNAM.EXE /DEFAULT
DEVICE=C:\PCM3\PCMSS.EXE      ( ソケットサービス          )
DEVICE=C:\PCM3\PCMCS.EXE      ( カードサービス            )
DEVICE=C:\PCM3\PCMRMAN.SYS
DEVICE=C:\PCM3\PCMSCD.EXE
```

●SystemSoft社の場合(COMPAQ CONTURA 400等)

```
DEVICE=C:\DOS\HIMEM.SYS                             (メモリマネージャ)
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE  X=D000-DFFF*
                   (弊社 VMM386.EXE の場合
                    C:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=D0-DF  *)
DEVICE=C:\CARDSOFT\SSVLSI.EXE ( ソケットサービス          )
DEVICE=C:\CARDSOFT\PCMSMIX.EXE
DEVICE=C:\CARDSOFT\CS.EXE     ( カードサービス            )
DEVICE=C:\CARDSOFT\CSALLOC.EXE
DEVICE=C:\CARDSOFT\CARDID.EXE C:\CARDSOFT\CARDID.INI
```

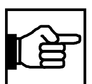

参 考

***占有メモリについて**
本製品はカード属性情報(タプル)を512バイト持っています。この情報を読み出すために使用するメモリのアドレス範囲が指定されています。

●IBM社の場合(ThinkPad 230Cs等)

```
DEVICE=C:\DOS\HIMEM.SYS                                   (メモリマネージャ)
DEVICE=C:\DOS\EMM386.EXE   X=C800-CFFF *
                            (弊社 VMM386.EXE の場合
                             C:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=C8-CF *)

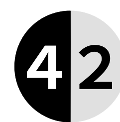
DEVICE=C:\EZGOING\IBMDSS01.SYS /M   ( ソケットサービス )
DEVICE=C:\EZGOING\IBMD0SCS.SYS      ( カードサービス )
DEVICE=C:\EZGOING\DICRMU01.SYS /MA=C800-CFFF
DEVICE=C:\EZGOING\AUTODRV.SYS C:\EZGOING\AUTODRV.INI
```


参 考

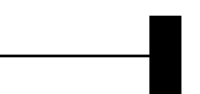
***占有メモリについて**
本製品はカード属性情報(タプル)を512バイト持っています。この情報を読み出すために使用するメモリのアドレス範囲が指定されています。

■PC-9821シリーズ

```
DEVICE=A:\DOS\HIMEM.SYS                          (メモリマネージャ)
DEVICE=A:\DOS\EMM386.EXE   /E=DC00-DFFF
                     (弊社 VMM386.EXE の場合
                      A:\MDEV\IOSPRO\VMM386.EXE /ROM=DC-DF)
DEVICE=A:\DOS\SSDRV.SYS     ( ソケットサービス )
DEVICE=A:\DOS\CS.EXE ( カードサービス )
DEVICE=A:\DOS\CSALLOC.EXE A:\DOS\CSALLOC.INI
DEVICE=A:\DOS\CARDID.EXE A:\DOS\CARDID.INI
```



日本語WindowsNT4.0 で使用するには





注 意

MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。
［2.4 動作確認］(P12)を参照して正常に動作することを確認してください。

● ドライバのインストール

PCET/TXを取り付ける前に、WindowsNT4.0のネットワークの設定を既に終了している場合は、アダプタの追加のみの手順となります。
アダプタの追加のみの場合は、網掛けの項目のみをご覧ください。

1 **ネットワーク接続したPCET/TXを接続後、WindowsNT4.0を起動します。**

・ 空きリソースの確認

2 **空いている（使用していない）リソースを確認します。**
まず、PCET/TXが使用できるリソース（I/O ﾎﾟｰﾄ､割り込み,ﾒﾓﾘ領域）を確認するために『ｽﾀｰﾄ』－『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』－『管理ﾂｰﾙ』の「WindowsNT 診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」を起動して各リソースの確認をしてください。



・ ドライバのインストール

3 次に『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、[ﾈｯﾄﾜｰｸ]アイコンをダブルクリックして開きます。別のネットワークカード等がインストールされている場合は、[ｱﾀﾞﾌﾟﾀ]タブをクリックして、[追加]ボタンをクリックしてください。(ネットワークがインストールされていない場合は、[Windows NT　ﾈｯﾄﾜｰｸがｲﾝｽﾄｰﾙされていません。ｲﾝｽﾄｰﾙしますか　?]と表示されますので、[はい]ボタンをクリックしてください。)

4 『ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾄｱｯﾌﾟｳｨｻﾞｰﾄﾞ』画面で、「ﾈｯﾄﾜｰｸに接続」がチェックされている事を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



5 検索の画面が表示されます。[一覧から選択]ボタンをクリックします。



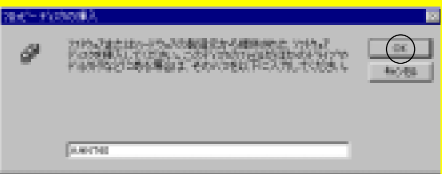
6 **以下の画面が表示されたら、右下の[ﾃﾞｨｽｸ使用]ボタンをクリックします。**



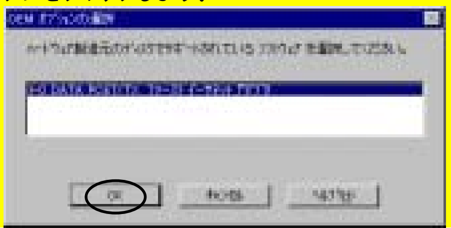
7 **『ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸの挿入』画面が表示されたら、サポートソフトディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**

(PC98-NXシリーズ及びDOS/Vの場合)
「PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン用
PCET/TXサポートソフト」
(PC-9821シリーズの場合)
「PC-9821シリーズ用
PCET/TXサポートソフト

フロッピーディスクドライブがA:の場合は「A:\NT40」と入力して、[OK]ボタンをクリックします。



8 **『OEM ｵﾌﾟｼｮﾝの選択』画面では、「I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。**



9 [次へ]ボタンをクリックします。
「I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」のチェックボックスがチェックされているのを確認してください。



10 使用する「ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ」を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

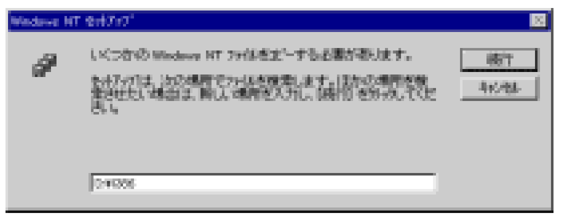


11 使用する「ﾈｯﾄﾜｰｸｻｰﾋﾞｽ」を指定し、[次へ]ボタンをクリックします。

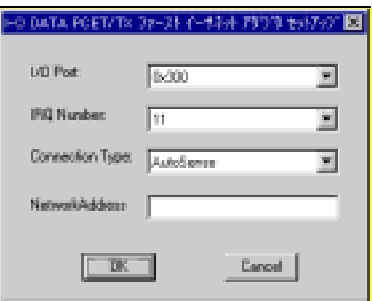


12 「選択されたﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄとｼｽﾃﾑに必要なﾈｯﾄﾜｰｸｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄをｲﾝｽﾄｰﾙします。……..」と表示されますので、[次へ]ボタン をクリックします。
その後それぞれのコンポーネントを設定してください。設定の詳細については、WindowsNT4.0の取扱説明書をご覧になるか、またはネットワーク管理者にご相談ください。

13 「いくつかのWindows NTﾌｧｲﾙをｺﾋﾟｰする必要があります」と表示されます。
WindowsNTのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合は
「D:\i386」 (CD-ROMドライブがDドライブの場合)
PC-9821シリーズの場合は「D:\PC98」(CD-ROMドライブがDドライブの場合)と入力して[続行]ボタンをクリックします。



14 リソース設定を行い、[OK]ボタンをクリックします。
手順**2**(P37)の「WindowsNT診断プログラム」で確認した空いている（使用していない）リソース(IRQなど)を設定してください。



別のネットワークなどがインストールされている状態でPCET/TXを追加した場合の作業はこれで完了です。他に必要なネットワークの設定を行ったあと、画面の指示に従って再起動してください。

15 ネットワークのバインドを設定し、[次へ]ボタンをクリックします。

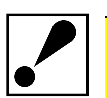


16 「ﾈｯﾄﾜｰｸを起動する準備が整いました。」と表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

17 「ﾄﾞﾒｲﾝ」または「ﾜｰｸｸﾞﾙｰﾌﾟ」を設定し、[次へ]ボタンをクリックします。



18 「このｺﾝﾋﾟｭｰﾀにﾈｯﾄﾜｰｸがｲﾝｽﾄｰﾙされました。……..再起動しなければなりません。」と表示されます。[完了]ボタンを押して、再起動します。



注 意

WindowsNTでは、WindowsNTの使用中にカードの抜き差しはできません。必ず、WindowsNTを終了し、電源を切った状態で抜き差しを行ってください。

以上でインストールは完了です。

● インストール終了後の確認

ここではPCET/TXがWindowsNT4.0で正常に認識されているかどうかの確認方法を説明します。インストール終了後、必ず以下の事を確認してください。

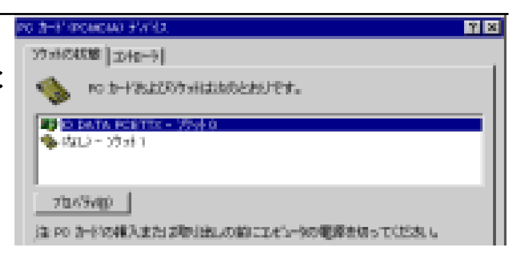
確認1

起動時に以下のようなエラーが表示されない事を確認してください。

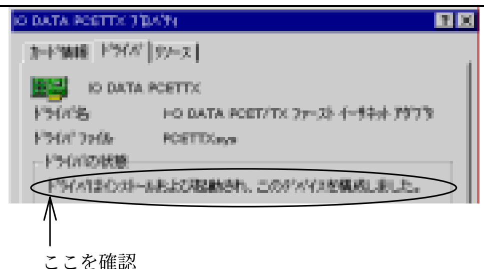


確認2

1 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、『PCｶｰﾄﾞ』アイコンをダブルクリックします。
「IO DATA PCETTX」を選択し、[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックします。



2 「ﾄﾞﾗｲﾊﾞ」タブを選択し、「ﾄﾞﾗｲﾊﾞの状態」が「ﾄﾞﾗｲﾊﾞはｲﾝｽﾄｰﾙおよび起動され、このﾃﾞﾊﾞｲｽを構成しました。」になっていることを確認してください。

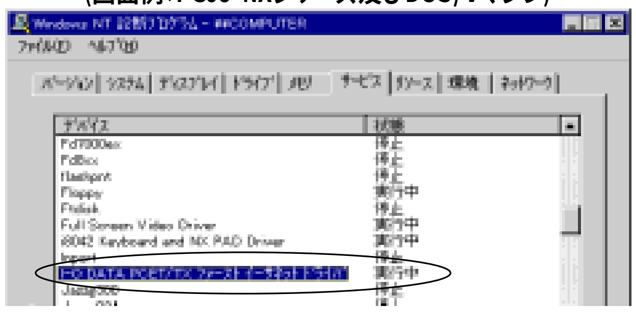


確認3

『ｽﾀｰﾄ』→『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』→『管理ﾂｰﾙ』をクリックし、『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』アイコンをダブルクリックして『Windows NT診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』を起動します。

1.「ｻｰﾋﾞｽ」タブの「ﾃﾞﾊﾞｲｽ」ボタンをダブルクリックしてください。
「I-O DATA　PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ﾄﾞﾗｲﾊﾞ」の項目が表示されており、「状態」が「実行中」であることを確認してください。


(画面例：PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン)

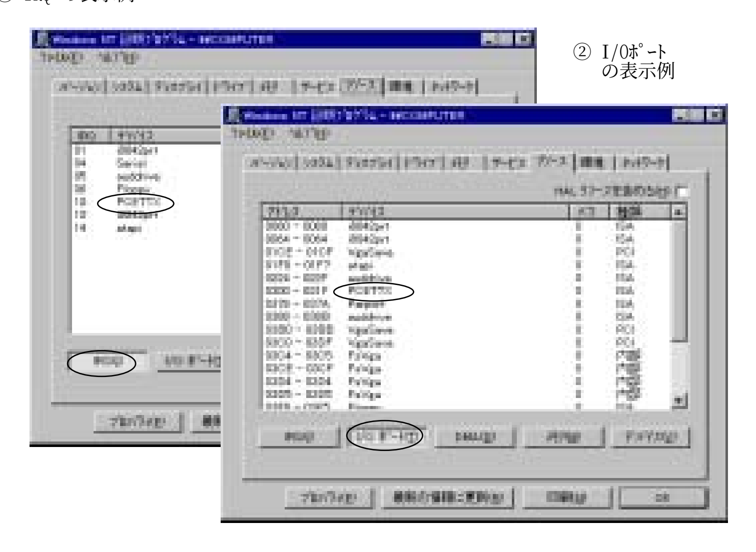


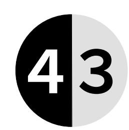
2.「ﾘｿｰｽ」タブのIRQ(以下の①画面)、I/Oポート(以下の②画面)でデバイス名「PCETTX」を確認してください。

(画面例：PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン)

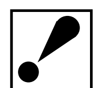
① IRQ の表示例

② I/Oﾎﾟｰﾄ
の表示例



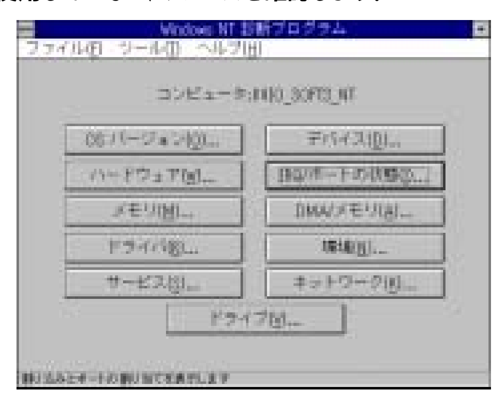


日本語WindowsNT3.51 Workstationで使用するには



MS-DOSの起動ディスクを準備し、MS-DOSを起動してください。[2.4 動作確認] (P12)を参照して正常に動作することを確認してください。

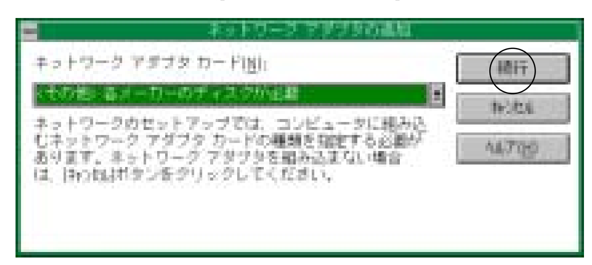
1 **WindowsNT3.51 Workstationを起動します。**
まず、PCET/TXが使用できるリソース (I/O ﾎﾟｰﾄ、割り込み,ﾒﾓﾘ領域) を確認するために『プログラムマネージャ』－『管理ツール』の「WindowsNT 診断ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ」を起動して、空いている (使用していない) リソースを確認します。



2 **次にネットワークの設定を行います。**
『メイン』－『コントロールパネル』－「ネットワーク」アイコンを順にクリックし、『ネットワークの設定』画面の「ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ｶｰﾄﾞの追加」ボタンをクリックしてください。



3 **『ネットワーク アダプタの追加』画面の「ネットワーク アダプタ カード」の項目で「<その他>各メーカーのディスクが必要」を選択し、「続行」ボタンをクリックします。**



4 **『フロッピーディスクの挿入』画面で「PCET/TXサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、フロッピーディスクドライブの\nt351パス指定を行います。**
例)<u>A:\nt351</u>　（下線部入力：フロッピーディスクドライブがAドライブの場合）

5 **『OEM オプションの選択』画面で「I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」と表示されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします。**

6 **『I-O DATA PCET/TX ﾌｧｰｽﾄ ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ ｾｯﾄｱｯﾌﾟ』画面では、手順1で確認した空いている（使用していない）リソース（「IRQ Level」,「Memory Base Address」,「I/O Port Address」）を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。**

7 **『コントロールパネル』－『ﾈｯﾄﾜｰｸ』画面でWindowsNT3.51 Workstationの取扱説明書に従って各種のネットワーク構成を設定してください。**



注 意

参 考

1) WindowsNTでは、WindowsNTの使用中にカードの抜き差しはできません。必ず、WindowsNTを終了し、電源を切った状態で抜き差しを行ってください。
2) WindowsNT3.51 Workstationの「ネットワーク」、「サーバ」、「FTPサーバ」、「ファイルマネージャ」、「ユーザマネージャ」の設定により、WindowsNT3.51同士の［ピア・ツー・ピア］接続、「NetWareクライアント」接続、「WindowsNT3.51クライアント」接続などが可能になります。詳細はWindowsNT3.51 Workstationの取扱説明書をご覧頂くか、ネットワークシステム管理者にご確認ください。

付録1 困った時には

PCET/TXが異常になる理由は様々です。(ネットワーク回線が接続されていないなど、ユーザーによって容易に改善できる場合もあります。)
この章では、個々の共通のトラブルを解決するヒントを提供します。

● 取り付け後のトラブル

パソコンの電源を入れても、LINK(リンク)LEDインジケーターはOFFになる。
パソコンの電源を入れた直後から画面に何も表示されない。

原因1 ケーブルの接続が悪い。

対処 RJ-45接続を使用している場合は、接続が緩んでいないかまたはケーブルの種類(クロスケーブルとストレートケーブル)が間違っていないかネットワーク回線を調べてください。

原因2 PCET/TXがPCカードスロットに正しく取り付けられていない。

対処 PCET/TXがパソコンのPCカードスロットに適切に装着されているか調べてください。

原因3 パソコンのPCカードスロットに、異常がある。

対処 トラブルが起きているPCET/TXを別のPCカードスロットに取り付けるか、他のパソコンに取り付けてください。
もし、これでトラブルが解決される場合は、トラブルが起きているパソコン本体のPCカードスロットに異常があることになります。ネットワークシステム管理者またはパソコンの販売店にご相談ください。

● etsetup.exeでの自己診断中のトラブル

インストール（動作確認）時のトラブルの多くは、各種デバイスドライバとのパソコン資源の競合によって発生します。


注 意

etsetup.exeでの「LANアダプタの自己診断」が動作しない場合は、ご使用の各OSでPCET/TXのドライバをインストール後、インストール後の確認を行ってください。
（【第3章】(P15)及び【第4章】(P31)参照）

「LANアダプタの自己診断」の実行ができない。

原因1 PCET/TX用に4KBのメモリ空間を確保していない。

対処 config.sysのメモリマネージャ（emm386.exeや弊社製vmm386.exe等）にPCET/TX用に少なくとも4KBのメモリ空間が必要です。

原因2 PCET/TXがPCカードスロットに正しく取り付けられていない。

対処 PCET/TXがパソコンのPCカードスロットに適切に装着されているか調べてください。

原因3 PCカードドライバ（ソケットサービス/カードサービス）がパソコンにインストールされていない。PCカードドライバに関しては、各パソコンメーカーにお問い合わせください。
（PCカードドライバがお分かりにならない場合は、【4.1.5 ソケットサービス／カードサービスの例】(P35)参照）

対処 カードサービスを登録してください。

原因4 パソコンのPCカードスロットに、異常がある。

対処 トラブルが起きているPCET/TXを別のPCカードスロットに取り付けるか、他のパソコンに取り付けてください。
もし、これでトラブルが解決される場合は、トラブルが起きているパソコン本体のPCカードスロットに異常があることになります。ネットワークシステム管理者またはパソコンの販売店にご相談ください。

「ｶﾚﾝﾄI/Oﾍﾞｰｽｱﾄﾞﾚｽﾃｽﾄ」時にエラーとなる

原因　PCET/TXが使用しようとしたI/Oポートが他の周辺機器やPCカード等で既に使用されている（重なっている）。

対処　カードサービスがPCET/TXに割り当てているI/Oポートアドレスを他と重複しない値に変更してください。（詳細はパソコン本体の取扱説明書またはパソコンメーカーにお問い合わせください。）

「DC-DC変換,発振器,水晶ﾃｽﾄ」時にエラーとなる
「EEPROMﾃｽﾄ」時にエラーとなる
「LANｾｯﾄｱｯﾌﾟﾚｼﾞｽﾀﾃｽﾄ」時にエラーとなる
「ﾒﾓﾘﾃｽﾄ」時にエラーとなる
「LANｺﾝﾄﾛｰﾗﾌｧﾝｸｼｮﾝﾃｽﾄ」時にエラーとなる
「内部ﾙｰﾌﾟﾊﾞｯｸﾃｽﾄ」時にエラーとなる

原因1　PCET/TXが使用しようとしたI/Oポートや割り込み(IRQ)が他の周辺機器やPCカード等で既に使用されている（重なっている）。

対処　カードサービスがPCET/TXに割り当てているI/Oポートアドレスや割り込み(IRQ)を他と重複しない値に変更してください。（詳細はパソコン本体の取扱説明書またはパソコンメーカーにお問い合わせください。）

原因2　カードが壊れている可能性があります。

対処　弊社修理係にお問い合わせください。（【修理について】(P60)参照）

● Windows98/95上でのトラブル

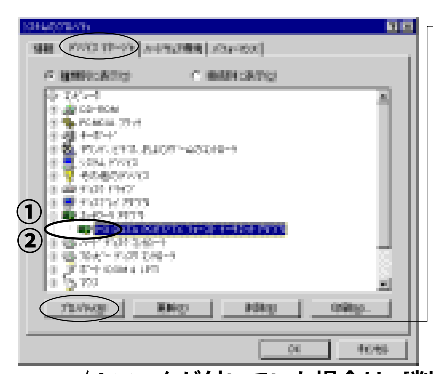
Windows98/95起動途中などでアダプタが異常のエラーとなる。
その他Windows98/95上でPCET/TXが正常に動作しない。

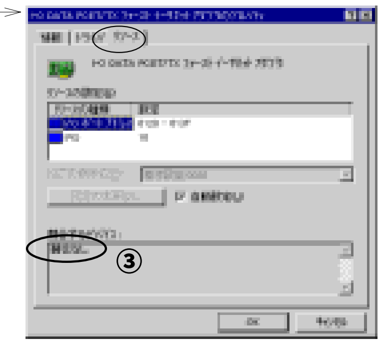
原因 PCET/TXのリソース（「I/O ﾎﾟｰﾄｱﾄﾞﾚｽ」,「割り込み」）の設定が間違っている。

対処 以下の手順でリソースの確認及び変更を行ってみてください。

① Windows95起動後、『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』をクリックし、「ｼｽﾃﾑ」アイコンをダブルクリックします。『ｼｽﾃﾑのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾃﾞﾊﾞｲｽ ﾏﾈｰｼﾞｬ」タブで「ﾈｯﾄﾜｰｸｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をダブルクリックします。

② 表示されている「I-O DATA PCET/TX ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」をクリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」ボタンをクリックします。「I-O DATA PCET/TX ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」の頭に！マークが付いていないことを確認してください。



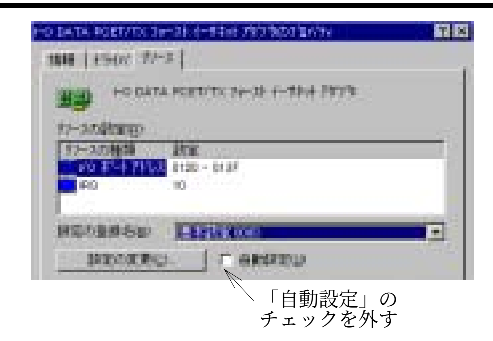


（！マークが付いていた場合は、[削除]ボタンで「I-O DATA PCET/TX ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ」を一旦削除後、再度［3.2 インストール］(P18)を参照してPCET/TXのドライバをインストールしてみてください。）

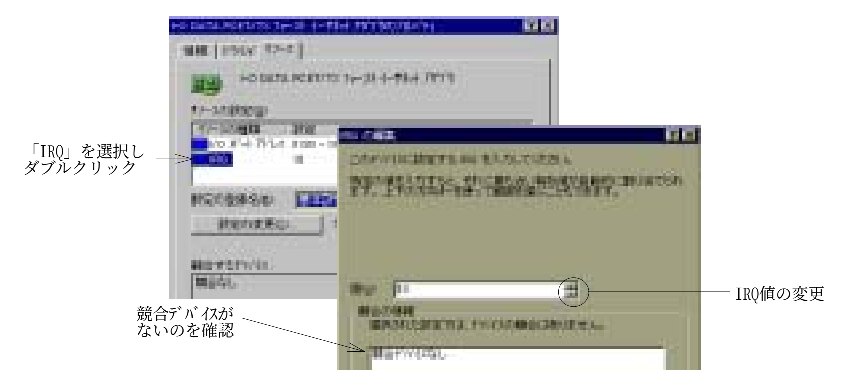
③ [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]ボタンをクリックし、『I-O DATA PCET/TX ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の「ﾘｿｰｽ」で、競合するデバイスがないか確認してください。
競合している場合は、リソースを変更してみてください。
リソースの変更は、次ページの「･リソースの変更」を参照してください。

･リソースの変更

『I-O DATA PCET/TX ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀのﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』画面の｢ﾘｿｰｽ｣で、[自動設定]チェックボックスのチェックを外します。



2.｢割り込み(IRQ)｣の変更は、『I-O DATA PCET/TX ｲｰｻﾈｯﾄ ｱﾀﾞﾌﾟﾀ』画面の[ﾘｿｰｽの種類]の[IRQ]をダブルクリックして変更できます。



付録2 仕様

ここではパソコンの環境状況、及びPCET/TXの仕様について記述します。

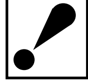


付2 1 パソコン環境

PCET/TXの「割り込み」「I/Oポートアドレス」がパソコン本体や他のPCカードと重複していると、パソコン本体が起動できなくなる場合があります。
この場合は、PCカードを全て取り外してから各PCカードの設定状態を確認し、重複しないように設定し直してください。
（PCET/TXは、パソコン本体に全てのPCカードを取り付け後、再度確認と設定を行う必要があります。【2.4 動作確認】(P12)を参照してください。）
また、各PCカードを使用する環境によっては、CONFIG.SYSやAUTOEXEC.BAT、Windows上の環境設定ユーティリティで変更しなければならない場合があります。（設定の詳細はお持ちのパソコンやマザーボード、各PCカードのマニュアルをご覧ください。）

・PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン本体の割り込み、DMA、I/Oポートアドレス使用状況（一例）

パソコン本体		IRQ	DMA	I/O Port Address(備考)
タイマー		0		
キーボード・コントローラ		1		0060h～0067h
IRQ8～15のカスケード接続用		2		(IRQ9と併用不可能)
RS-232C	(COM4)	3		2E8h～2EFh
	(COM2)			2F8h～2FFh
	(COM3)	4		3E8h～3EFh
	COM1			3F8h～3FFh
(LPT2またはサウンド機能)		5		LPT2の場合 278h～27Fh サウンド機能の場合 200h～207h,220h～233h, 330h～331h,388h～39Fh
FDDコントローラ		6	2	3F0h～3F7h
LPT1		7		378h～37Fh
リアルタイムクロック		8		
未使用(IRQ2にリダイレクト接続)		9		(IRQ2と併用不可能)
未使用		10		
未使用		11		
(PS/2マウスポート)		12		0060h～0067h
数値演算コプロセッサ(80287)		13		
プライマリIDEドライブコントローラ	drive0	14		1F0h～1F7h
	drive1			3F6h～3F7h(FDと共有)
(セカンダリIDEドライブコントローラ)	drive2	15		170h～177h
	drive3			376h～377h


注 意

パソコン本体の仕様により、異なる場合があります。取扱説明書などを参照して確認してください。

・PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシン対応各種PCカードのI/Oポートアドレスの使用状況（一例）

PCカード	I/Oポートアドレス
PCET/TX(本製品)	240h～25Fh、280h～29Fh、2C0h～2DFh、300h～31Fh、320h～33Fh、340h～35Fh、360h～37Fh　より選択
PCSC-V	E0D8h～E0DFh、F0D8h～F0DFh、338h～33Fh、308h～30Fh　より選択
PCFM,PCML シリーズ	3F8h～3FFh、2F8h～2FFh、3E8h～3EFh、338h～33Fh　より選択
PCJOY	201h *1　の1バイトを使用

*1 ： Windows95上では、110h,120h,130h,20Fhに変更可能

・**PC-9821シリーズの割り込みレベルとDMA使用状況（一例）**

パソコン本体		割り込みレベル(INT)									DMA チャネル			
		0	1	2	3	41	42	5	6	無し	#0	#1	#2	#3
マウス									●					
IDE 内蔵ハードディスク					●									
内蔵サウンド機能								◎						
内蔵フロッピィディスク I/F	640KB					△								△
	1MB/1.44MB						●						●	
TVチューナボード				●										
FAXモデム			●											
2nd CCU			◎											
赤外線通信機能			◎											

●出荷時設定（パソコン本体の取扱説明書などを参照してください。◎の部分は解放可能な場合があります。）

△解放可能（PC-9821シリーズのシステムセットアップメニューまたはディップスイッチで、フロッピィディスクモードを「1M」に固定｛SW3-1 ON,SW3-2 OFF｝すると解放されます。この場合でも 2DD(640KB/720KB) のディスクはアクセスできます。）

・**各種PC-9821シリーズ対応PCカードのI/Oポートアドレス使用状況（一例）**

PCカード	I/Oポートアドレス				備考
	xxD0h	xxD4h	xxD8h	xxDCh	
PCET/TX(本製品)	0xD0h〜0xEF				x=0h〜4h (2h単位で設定可能)
PCSC-V			xxD8h〜xxDF		xx=E0hまたはF0hで設定可能 338h〜33Fhまたは308h〜30Fhでも設定可能
PCFM,PCMLシリーズ	0xD0h				x=0h〜3hで設定可能
PCJOY	■※				※ 4D2hの1バイトのみ使用


注 意

使用可能な割り込みレベルやDMAチャネルの数は限られています。このため、PCカードを多く使用しようとすると、重複が避けられない場合があります。この場合は、重複の避けられないPCカードと併用できません。それらのボードを必要に応じて使い分けてください。また、I/Oポートアドレスの使用状況は、各PCカードの取扱説明書を参照して確認してください。

併用するPCカードの割り込みレベルがIRQで表記されている場合は、下表でINT表記との関係を確認してください。

INT 表記	INT 0	INT 1	INT 2	INT 3	INT41	INT42	INT 5	INT 6
IRQ 表記	IRQ 3	IRQ 5	IRQ 6	IRQ 9	IRQ10	IRQ11	IRQ12	IRQ13

■メモリ領域の確保

config.sysのメモリマネージャ（emm386.exeや弊社製vmm386.exe等）にPCET/TX用に少なくとも4KBのメモリ空間が必要です。
空けていない場合は、以下の例を参照して4KBのメモリ空間を空けてください。
（他のPCカードで使用するメモリ空間を合計し、メモリを空けてください。この場合は、使用するPCカードのマニュアルを参照してください。）

emm386.exeの場合（下線部を設定:4KB空ける場合）

例）DOS/Vマシンの場合

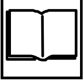
DEVICE=EMM386.EXE NOEMS X=D400-D4FF

PC-9821シリーズの場合

DEVICE=EMM386.EXE NOEMS /E=DC00-DCFF

弊社製vmm386.exeの場合（下線部を設定:4KB空ける場合）

例）　DEVICE=VMM386.EXE /ROM=DC-DC



参照

PCET/TXのIDや他の情報を読み込むためにそのメモリ空間を使用します。（他のPCカードと一緒に使用する場合は、使用するメモリ空間を合計し、メモリを空けてください。この場合は、使用するPCカードのマニュアルを参照してください。）





LANアダプタカード	PCET/TX
LANコネクタ	RJ-45
メディアタイプ	10BASE-T/100BASE-TX
バス幅	16Bit
RAMバッファ	64KB
LEDインジケータ	10/100 Half/Full Ln/Act
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンで使用可能な割り込み番号	IRQ 3,5,9,10,11,12,15
PC-9821シリーズで使用可能な割り込み番号	INT 0,1,2,5,6 (IRQ 3,5,6,12,13)
PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンで使用可能なI/Oポートアドレス	240h～380h (20h単位) [260h,2A0h,2E0hを除く]
PC-9821シリーズで使用可能なI/Oポートアドレス	0D0h,1D0h,2D0h,3D0h,4D0h,5D0h,6D0h,7D0h
使用温度範囲	0°C～40°C(パソコンの動作する温度範囲であること)
使用湿度範囲	10%～90% (結露しないこと。パソコンの動作する湿度範囲であること)
消費電流(MAX)	+5V/270mA
サイズ	PCカード規格　TYPE II (85 x 54 x 5 mm)

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピーディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の
   状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/
「PLANTコールセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

NIFTY SERVE　アイ・オー・データステーション(SIODATA)サポート会議室

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「PCET/TX」係　宛

■電話

電話番号　東京　03-5256-2010

受付時間　9:30〜12:00　13:00〜17:00
月〜金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　東京　03-3254-9055

宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「PCET/TX」係　宛

本製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY SERVE	ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ11(LIB 11)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「PCET/TX」　バージョンアップ係　宛
電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
●このサービスへのご質問は、弊社PLANTコールセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社PLANTコールセンターへご依頼ください。

● 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

● 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

● 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
◇保証書がない場合
◇保証書の所定事項が未記入の場合
◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
◇落雷などの事故による破損の場合
◇本製品を改造した場合

● 保証期間後は有償で修理いたします。
製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

● 修理品送付先

住所	〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル 株式会社アイ・オー・データ機器 「PCET/TX」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、<u>宅配便</u>または<u>書留郵便小包</u>でのご送付をお願いいたします。

● 修理品納期問い合わせ窓口

電話番号	金沢　076-260-3663
受付時間	9:30～12:00　13:00～17:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

PCET/TX 取扱説明書
1999.Jun.4 13386-02
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

ここにVerシールをお貼りください

Verシール